労働運動の活性化を ~全労協が果たすべき 役割を確認~

九月二十八日~二十九日、東宗・全水道会館にて第三七回定期全国大会を開催した。 大会は、鞣材副議長の開会で始まった。はじめに資格審査委員会から大会改立の報告を受 け、議長団を選出した。議長団には全国一般全国協の望月代議員、東京清掃労組の萩原代議 員が選出され、大会役員を選出した後議事に入った。

執行部を代表して 挨拶に立った 漢遺議長は 「二五春間は が両高端に 勝つことができなかっ た。課題ごとの共調が重要だ。最賃近傍で働く労働者は増えている。最賃引上げの調いは重 要になっている。福岡では外国人技能実習生の意見陳述が実現している、このことは全労協 加盟組合の奮闘の結果だ。外国人労働者に対する差別排外主義が拡大している、外国人労働 者なくして今の社会は成り立たないことが分かっている。共に働き共に暮らす仲間として迎 える社会が必要だ。労働基準法の改悪に向けた議論が進められている。ナショナルセンター の枠を超えた取り組みが必要だ。全労協の果たすべき役割は重要な位置にあることを確認し たい。そして全労協の組織拡大に向けても奮闘していこう」と結んだ。

米伽茶莎

続いて来質の方々からの挨 数を受けた。

ク鳥井事務局長、移圧者と連 数があった。また、 一日目の 後半には特別に参議院議員選 挙を闘った大椿裕子社民党副 党首から挨拶を受けた。



瑶

二日目に来賓として参加さ れた全日建運輸運帯労組小谷

算案等を執行部が規型した。

二日間の討論では十五名の代 員会から答申が出され、次期 常任幹事会で議論することと

経過報告に対する質疑

朝鮮学校と靖国神社遊就館で

ィールドワークに取り組ん

だ。特に靖国神社では侵略を

美化した表現しかないことに

驚いた。青年委員会の今後の

柚木代議員(退職者ユニオ

な運動が必要。男女差別が当

ても政府は後ろ向きだ、女性

佐々木代議員(全統一)会

計年度任用職員の子葉市非常

動職員の再任用の壁を破る成

果を勝ち取った。外国人労働

れたのは外国人労働者。現

圧、団体交渉中だ。外国人労

している、取り組みに協力を。

柳瀬代議員(全国一般全国

[労基研報告

はで

活動に協力を要請する

日巻代議員(郵政ユニオ ン) 労契法二十条裁判、非正 参議院議員ラサール石井 規社員の均等待遇の闘いを展 当の訴訟で、最高裁は非正規 社員への不支給は不合理では ないという判決を出した。強

く抗議をしたい。最賃引上げ の関いでは長崎県で組合員が 審議会で参考人として意見陳 述し、大幅引上げを訴えた。 権利確立に共に頑張ろう。 見機代議員(東京全労協)

少年写真新聞社は、現在、会 る。これまで幾度となく売却 の話が出てきて抗議の声を挙 げてきた。十一月には社前集 願いしたい。

庄子代議員 (東宗全労協) 新聞輸送は、人手不足を補う ために下請化が進んでいる。 この間の組合否認、組合差別 の不当労働行為を労働委員会

にあるので積極的活用を

芦沢代議員(全国一般全国

が、今後もこのようなことを 繰り返させてはならない。労 動相談のフリーダイヤル 番号 をホームページに掲載すべき ではないか。また相談内容を 報告共有する機会を設けるべ きではないか



沖代議員 (静岡県共闘) 浜 岡原発は世界で一番危険と言 皮に

臭われる

確率が高いから

だ。事故が起きたら国が東西 に分断される。今後とも原発 に反対し運動を展開する。

柚木代議員(退職者ユニオ としてどう取り組むかだ。

議では、大阪府労委でチェ支 会長の審問がある。日東電工 は今、スラップ訴訟で対抗し 領習が強まっている。高浜原 発の再隊働に反対する全国集

会を計画している。結集をお 願いする。スポットワークの 問題に対して具体的な取り組 みはあるか。

高田代議員(大阪教育合 者が多数側いている工場では 同) 他府県の独立した教育現 交渉を取り組んでいる。給食 時間は労働時間だと訴えてい 龍代議員(退職者ユニオ 働者などの対するヘイトが拡 る、私立は認めたが公立は認 められなかった。引き続き給

> **倉林代議員(国労)地方口** ている。群馬県の吉妻線の一

服部代議員(宗都総評)京 て最賃引き上げ額の差額を要 都でも自衛隊の基地強化が進 求する取り組みも検討すべき 員がおかれている差別や格 んでいる、全国的な集会とし

年も先送りされる県が出た 道を残そうということを訴え にさせないことが必要だ。ま ていく。独立した人権機関の

○労政審の審議で労働時間の きなテーマになっている感が めのルール作りだ。労政審の ない。ここは大きな問題だ。 声を挙げていく。 ○国連の女性差別撤廃条約の

星野代議員 (宮城全労協) 秋田の最賃引上げ遅延につい て秋田労働号に文書で広議し た。キステム裁判は勝利的に 和解でき、ベトナム人技能実 習生の裁判も和解ができた。 支援に感謝する。

ている。協力を要請する。

て広置付けている。最賃の発

効日遅延問題、慣例にさせな

どれだけの賃金があれば暮ら

会との二件のハラスメント裁

判を闘っている、支援をお願

事務局長答弁と集約

①り丸工争議については第三

○このこ~三年五%、六%賃 る。しかし、中小に働く労働

の遅延が各地で出た。発効日

四司定期全国大会で「支援共 闘会議の解散を受け、全労協 一旦到達点とする。以降の支 く」と確認した。この確認に 変わりはない。
のフリーダイ ヤルでの労働相談の調査につ いて検討する。
③スポットワ 握していなので、どう取り組



◆全国一般全国協議会

第三五回定期大会を開催

していきたい。

付けが強化されているが、国

だ。差別排外主義を許さない

○諱国オプティカルハイテッ

田をはじめ、四七都道府県の

うち、十月発効は二十地方と

いうとんでもない事態になる

秋田、岩手、群馬の最賃審

議事し入れと記者会見に取り

労働相談員のスキルアップを

取り組みだ。これまでも各組

関いを組織していきたい。

九月六日、全国一般全国路 は東京の南部労政会館で第三 五回定期大会を開催した。

ことが明らかになった。 大会では各地の活動報告が 行われ、労働運動だけでなく 平和や貧困などに取り組むと議会へ地元労組と共同して抗 とが共有された。

とんでもない最賃発行の延伸 **最低賃金について、福岡か**

人実習生が意見陳述をした報 告が行われた。また、最低賃 金の大幅引き上げに対し、 行が半年も引き延ばされた秋

合が「労働相談」など様々な 取り組みをしてきたが、 に対応するため「いまさら間

HIG **⟨**₩

編集

定

35回

大会議決を実践に移すため に、充実した議論を来年一月 の各県代表者会議で行う。

●徳島県債アップの取り組み

「徳島ショック」の流れ 絶やさず目安越え

九月一日、徳島地方最低賃 し、二度にわたる労働側の歩 〇四八円とする一との答申を る」と関心を集めた。昨年の 流れを絶やさず目安越えを実

八月二十一日、労働側は一

現することができた。

幅引き上げに強い警戒感を示 ニオンセンター

●全国一般全国協議会

に発効を延期に抗議

長低賃金額を現在の一時間九

五一円から一〇三二円(引上

四十一%) に引き上げるよ う」答申した。同時にその発

効の日を年度の最終日11011

で働く多数の労働者は生活の

ク争議の解決に向け国際連帯 の立場からも引き続き取り組

用労働者と司様に非正規公務 差、また、医療・福祉・介護 の共同訓練の強化に対して区 労働者の低賃金の改善や諸権 戦平和の声を強めて行く 発回帰に大きく記を切った攻 利の漢得に向けて奮闘してい スポットワークの急増に 存に対して市民団体とも連帯 対してどう取り組めるか追及 しながら脱原発の声を大きく

> ら「11011五年度役員体制 の提案があり、拍手で採択さ

この後常任幹事から「反戦 (全労協事務局長 関口広行)

• 平印 • 漢 憲 を 調 う 央 議 (案)1、「原発用稼働に区対 する決議(案)」「労働法制改 ○自衛隊の基地強化、米軍と悪と対決し労働者の権利前進 を勝ち取る決議(案)」「大会 宣言(案)」の関案が行われ 採択された。また、大会スロ ーガンが大会議長から提案さ れ採択された。

大会議長と大会役員の解任 後、岩元副議長の司会で退任 大会は、役員選考委員会か、役員の挨拶と新体制紹介があ

> 渡邉全労協議長の団結ガン バローで閉会した。

● 全統一 労働組合 全統一第五八回定期大会開催 争議解決に向け団結を固める

九月十三日、全統一労働組 ブール日本大使館の調いの報 合第五八回定期大会が、東京 告、さらに、倒産闘争から企 上野で開催された。大会には 全労協渡邉議長、中小労組木・野商店分会(真和網材)や、 **庄連の山岸事務局長、東京労** リー分会(コンビニへの配送 側安全衛生センター天野事務 業務)から報告と決意表明が · 東宗全労協小泉議民、 ᄣ′ さらに、亀戸ひまわり診

大会では、スライド上映に和を負長、佐々木史明副委員 S) 裁判で係争中の流山クリ ーンサービスの倒産争議、都した。 労委で争われている東京都自 動車整備振興会と外務省圧力

げることなどが提案された。

なお、体調の都合で退任を 表明していた池内書記長の後 任の選挙が行われ、前書記次 長の望月が信任された。全国 一般全国協書記長 望月吉春

み寄りにも応える気配を全く

グく中で三回目の専門部会

決着を見ることができた。

経営側の譲歩の背景には

る全国で目安額上乗せラッシ

大三円まで引き上げてき

そして三度目の労使二者

行われた。大会に参加した水 国人労働者や技能実習生から 闘う快意が表明された。 大会は、新年度方針を採択 し、新年度役員として齊藤正 秀書記長などを選出し、閉幕

(全統一副委員長 佐々木史





● 京都地方労働組合総評議会

第九十八回定期大会「ユニオ

連副議長をはじめ、日本共産 新社会党、自由法曹団か

「徳島ショック」効果といえ 機感が広がったことが大きな 一六年一月などの問題を 地、米軍経ヶ岬通信所などの

た11011五年度運動方針、11 ぼろう」で締めくくられた。

が行われた。(京都総評常任

行った。とりわけ今年度、発 (全国一般全国協副委員長



る意見書を提出 ンが労政権の 40 雇用共同





「最低労働基

の資料でも過労死が増加し いるにもかかわらず、 「労使

課題である労基法上の 形骸化し、 [労基研報告書]

含見め交

交換には各組合から12人、厚 労省からは労働条件政策課労 働条件確保改善対策室の田邉 錬太郎室長が出席しました。 A 4 で10ページに及ぶ意見 議論は、前進する事項もある ものの労働者の『働き方』に 深刻な影響を与えかねない事 項や労基法の基本構造に重大 な変更を求める事項など 割女で

大な局面を迎

意見書は、前回でも触れた 「労基研報告書」の核心的部 けでもある「法定基準の調整

り、労益は、う令改正を含む)面を迎えている」さとで提出したを

たることにある (1) な (1) な (1) な (2) な (2) な (3) を (4) を (4) を (4) を (5) を (5) を (6) を (6) を (6) を (6) を (7) を (7 ションとは 必要とし、 尾直

て、厚労省との要請・意見交 喚及び記者会見を9月12日、 享労省内で行いました。意見 労省労働基準局担当者に提出 回答も(調・意) に対す した。 児書 日、「労(件分科会 意見」(J 労大臣、 ま 意 て換厚

そのための具体的 加利克。 "莱斯",

死」の温床で、もはや廃止すべきであり、ましてや規制の緩和はすべきではない、というのが私たちの意見です。提出した意見書をぜひ、一 書」では一切触れられていなかった裁量労働制の拡充を使かった裁量労働制の拡充を使用者側は主張しています。裁量労働制は「過労死・過労自務」の温床で、もはや廃止す の上限規制を遵守してい かなりの労災が防げたこ うかがえる」(労政審で 用者側委員の発言)とい が経営側の認識です。 労政審、 認するものであり、労基法の 「解体」に他ならないと厳し く指摘しています。 「労働 馬馬米 の提示が、「法定基準の調整・代替」のための"条件整備"ならば有害であり、デロゲー いては、「過半数代表者」の 適正選出と基盤強化の改善策 の総論的 ンとは切り離した議論が $\tilde{\mathcal{U}}$ 者」、「事業」 たついては、 年 1 月21日に提出した意見 に沿った主張を展開し、「 使コミュニケーション」に

「(労政審の) 労基法等の

十月から賃金が上がること

来年三月三十一日の発効では、県中二十七県が発効日を遅延

2025年10月1 (3)

●全労協労働法制プロジェクト